



平成 29 年度 1 学期終業【 7 月 20 日 (木) 】

皆さん、今日で1学期も終了し、いよいよ明日から長い夏休みを迎えます。

先ずもって、今月初旬、島根県並びに九州北部を襲った集中豪雨は、被災地に甚大な被害をもたらしました。多くの方が亡くなられ、いまだ行方不明の方々の捜索が行われています。

3年前広島の地においても、同様の被害がありました。

私たち一人一人が、被災地に思いを馳せ、他人の痛みに関心を持ちたいと思います。

さて、この1学期間、皆さん一人一人が成長したことと思います。

1年生、4月当初は、入学したとはいえ、まだまだ小学生といった雰囲気でしたが、委員会や係活動を中心にその活動する姿は、今や立派な中学生になりました。

2年生、中堅学年は大様にして、気分が緩みがちになります。そうした中、後輩が出来たことにより、自らの姿勢をもって1年生に教えるなど、先輩としての自覚が芽生えてきました。1年生は身近な2年生の姿を見ています。

3年生、今年一年皆さんにとっては、全ての行事に「中学校生活最後の」といった冠が付きますが、1学期最大の行事、「体育大会」を、最高学年として、1、2年生にその範を示し、全校を見事にまとめ、やりきりました。

いずれの学年においても、個々が成長するその礎には、主体性や自律といったことが発揮されていたことと思います。

入学式でも触れましたが、第一中学校の目指す生徒像を思い起こしてください。

「規律を基盤とし、自ら考え、自ら行動できる自律した生徒」ですね。

この「自律した自己を育む」上で、明日から迎える夏休みという期間は、この上ない絶好のチャンスです。

明日からは学校での集団生活を離れ、家庭、地域での生活となります。普段の学校生活では、なかなか経験できないことに、じっくり取り組める貴重な期間です。その反面一人一人が自分で考え行動していかなければ、決して有意義な生活にはつながってはいきません。1学期及びこれまでの中学校生活で培ったことを踏まえ、生徒の皆さん、この長い夏休み、自分自身で時間の管理を行い、自律した生活の実行に努めてください。

夏休みを迎えるあたり、皆さん全員に 345 万 6 千という数字をプレゼントとします。何だと思いませんか。使わないと1日に 8 万 6400 ずつ無くなっていきます。

そうです、8 万 6400 は1日の秒数です。それに40日を掛けたのが 345 万 6 千秒となります。

時間は全員に与えられます。どう使い、どのように過ごすのか、自分で考え、自らの生活を築いてみてください。

とは言え、夏休みを過ごすうえで、守ってもらいたいこととして、最後に2点伝えます。

一つは、命を大事にするということです。安全で健康な生活を送ることが第一です。特に交通事故や水難事故、そして火を扱うことには、十分気をつけてください。

もう一度言います。決して命を失ってはいけません。

もう一つは、法律や社会のルール、きまりを守るということです。夏は心を開放的にするとともに、誘惑も多い季節です。軽い気持ちで行ったことが後で、取り返しのつかないことになってしまいます。

万引きは犯罪です。喫煙(タバコ)も未成年者は許されません。

そして、携帯電話等による犯罪、トラブルが多発しています。

繰り返します。法律や社会のルール、きまりを破ってはいけません。

以上の2点は必ず守り、その上で、自律的な生活を過ごしてください。

それでは、2学期の始業式に遅くなった皆さんと再び会えることを楽しみにしています。終わります。